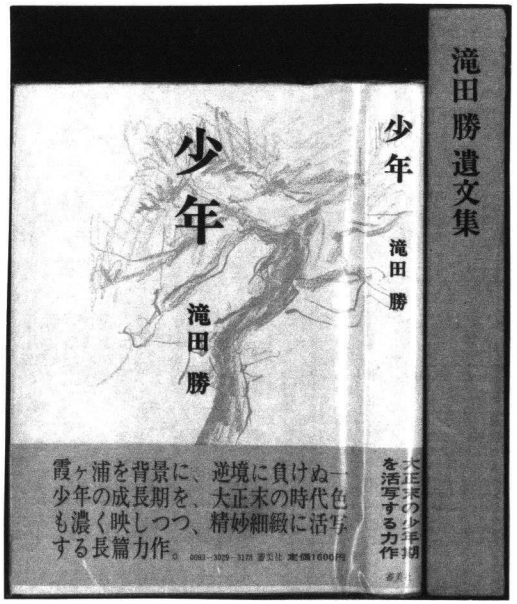
滝田勝　おぎぶ　まさる　ドイツ文学者。明治四十五年（一九一二）二月二十五日茨城県新治郡神岡生れ、昭和六十年十一月二十一日没（一九二一―八五）。水戸高等学校を経て、昭和十二年東京帝国大学文学部独文科卒。東亜研究所、小松製作所等勤務ののち、二十七年土浦第一高等学校教諭、四十一年茨城キリスト教短期大学教授、翌年茨城キリスト教大学教授。

小説『少年』（昭和五十六年九月二十日審美社）、『滝田勝遺文集』（昭和六十一年十一月二十一日茨城・滝田彬刊）。